

# 令和5年度 児童養護施設等におけるエネルギーコスト 削減促進事業補助金 申請要領

(令和5年5月26日時点)

## 1 制度の目的

本補助金は、原油・原材料価格の高騰に直面する県内の児童養護施設等のエネルギーコストの削減を促進し、持続可能な経営構造への転換と2050年度に二酸化炭素を含む温室効果ガス正味排出量をゼロにする「2050ゼロカーボン」の実現を図ることを目的としています。

## 2 補助対象者

補助金の交付対象となる者は、次の要件を全て満たすものとします。

(1) 以下のいずれかの施設又は事業の運営主体

ア 児童養護施設等（児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条に規定する児童福祉施設のうち、乳児院、児童養護施設又は児童家庭支援センター）

イ 児童福祉法第6条の3第1項に規定する児童自立生活援助事業を行う施設（自立援助ホーム）

ウ 児童福祉法第6条の3第8項に規定する小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）

(2) 省エネ設備及び再エネ設備の更新等を行う設備を所有する者

(3) 県税の滞納がない者

(4) 長野県暴力団排除条例（平成23年長野県条例第21号）に規定する暴力団員若しくは暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する者でないこと。

## 3 補助対象経費

補助対象経費は、省エネ設備の更新や新規導入及び再エネ設備の新規導入（増設は除く。）に必要な経費（消費税及び地方消費税相当額を除く。）で、下表のとおりです。

(1) 補助対象となる経費

項目	内訳
① 設備費	補助対象設備の導入等に係る購入、製造、据付等に必要な経費 (例) 換気機器、空調機器、その他事業実施に必要不可欠な付属機器 (リモコン、フード、化粧パネル等)
② 工事費	補助対象事業の実施に不可欠な配管、配電等の工事に必要な経費（補助対象設備の導入等に係る設計に必要な経費を含む） (例) 労務費、材料費、機器搬入費、機器据付費、基礎工事、配電・配管工事、直接仮設費、共通仮設費、現場管理費、断熱・保温等の設置工事に要した費用、総合試験調整費、立会検査費、配管耐圧検査費、真空乾燥調整費、冷媒ガス及び充填作業費、養生費、天井等解体及び復旧費、点検口取付費等

③ 処分費	既存設備を更新する場合の既存設備等の撤去・処分に必要な経費 (例) 既存設備の撤去・処分のための工事に要した費用
-------	---

※上記経費に係る消費税相当額は、補助対象経費ではありません。

※中古設備の導入については、補助対象ではありません。

※過剰とみなされるもの、増設されるもの、将来用・兼用・予備用のものに要する経費は対象ではありません。

※各項目の費用について、補助事業を行うために必要かつ不可欠であることの証明は補助事業者の負担とします。証明できなかったことによる不利益について、県は一切の責任を負いません。

## (2)補助対象とならない経費

項目	内訳 (例示)
① 設備費	リース料、計測機器又は装置、必要不可欠とは言えない付属機器等
② 工事費	安全対策費、土地の取得・賃貸・管理等に要する費用、道路使用許可申請費用、本事業と直接関係のない工事・設計に要した費用等
③ 処分費	本事業と直接関係のない設備機器等の撤去・処分に要した費用
④ 諸経費	一般管理費、諸経費（準備費、仮設物費、安全費、保証料、試験調査費、整理清掃費、機械器具費、運搬費、租税公課、保険料、従業員給料手当、退職金、法定福利費、福利厚生費、事務用品費、通信交通費、補償費、役員報酬、動力用水光熱費、その他）、補助事業経費の積算に関する費用、長野県に提出する申請書類等の作成費用等

## 4 補助内容

対象事業	補助対象設備の区分	補助率	補助下限額及び上限額
省エネ設備更新等事業及び再エネ設備導入事業	省エネ設備及び下記を除く再エネ設備	3/4 以内	補助下限額 50 万円 補助上限額 500 万円
	太陽光発電システム (50kW 未満、全量売電を除く)	定額 (出力 1kW 当たり 4 万円以内)	

※補助金の額に千円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。

## 5 申請・報告等の手続

本補助金に関する申請等の手続は、以下のとおりです。

児童養護施設等におけるエネルギーコスト削減促進事業補助金交付要綱（以下「交付要綱」という。）等を確認の上、必要な書類を期間内に提出してください。

### (1) 申請書類等の受付

#### ア 配布方法

対象となる施設へ電子メールにより送付します。

#### イ 提出方法

持参又は郵送で行ってください。提出の際は紙媒体で1部提出してください。

※紛失等を防ぐため、封筒には「児童養護施設等におけるエネルギーコスト削減促進事業補助金申請書類 在中」と記入してください。

ウ 提出先

長野県県民文化部こども若者局こども・家庭課児童相談・養育支援室

郵便番号：380-8570

所在地：長野県長野市大字南長野字幅下692-2

電話番号：026-235-7099

※事業活動温暖化対策計画の提出先については、別途お知らせします（(2)参照）。

エ 費用の負担

申請等に要する経費は、全て申請者の負担とします。

手続の種類	提出期限	提出書類	備考
① 事業計画承認申請	令和5年9月29日	<b>事業計画承認申請書（様式第1号）</b>  【添付書類】 事業計画書（様式第2号）	
② 交付申請	令和5年11月17日	<b>交付申請書（様式第3号）</b>  【添付書類】 (1) 実施計画書（様式第4号） (2) 次のうち該当するもの ア 従業員数21人以上の場合 →長野県環境政策課ゼロカーボン推進室又は地域振興局環境担当課に提出した事業活動温暖化対策計画の写し イ 従業員数21人未満の場合 →エネルギーコスト削減等計画書（様式第5号） (3) その他知事が必要と認める書類（実施計画書の添付書類一覧のとおり）	【添付書類(3)関係】 添付書類一覧の4、5は証明日が申請日より前3か月以内のものであること
③ 事業計画変更申請	補助事業の内容を変更しようとするとき	<b>事業変更承認申請書（様式第7号）</b>  【添付書類】 (1) 変更後の実施計画書 (2) 変更後の補助対象経費の内訳が確認できる書類	変更、中止（廃止）の場合や、予定の期間内に事業が完了しないおそれがある場合は、速やかに児童相談・養育支援室へ相談してください。
④ 事業計画中止（廃止）承認申請	補助事業を中止又は廃止しようとするとき	<b>事業中止（廃止）承認申請書（様式第8号）</b>	

⑤ 事業計画遅延等報告	補助事業が予定の期間内に完了しないとき	<b>事業計画遅延等報告書</b> <b>(様式第 11 号)</b>	
⑥ 事前着手	交付決定前に事業に着手する必要があるとき	<b>交付決定前事業着手届出書</b> <b>(様式第 10 号)</b>	
⑦ 繰越承認申請	事業を翌年度に繰り越す必要がある場合	<b>繰越承認申請書 (様式第 12 号)</b>	(注意) 自然災害や半導体部品等の不足による大幅な納期遅延など、真にやむを得ない理由がある場合でなければ繰越しはできません。
⑧ 実績報告	補助事業が完了したとき	<b>事業実績報告書 (様式第 13 号)</b>  【添付書類】 (1) 省エネ設備や再エネ設備の更新等を行った建物及び設備の概要が確認できるカラー写真（取り付けようとする設備の型番の写真、取り付け後の写真等） (2) 支出が確認できる書類（契約書等の写し、請求書の写し、領収書の写し、銀行等で振込みしたことが分かる書類） (3) 既存設備を撤去した場合には処分が完了したことを証する書類（産業廃棄物管理票（マニフェストD票）の写し、フロン引取証明書の写し（フロン類が含まれる設備を撤去した場合に限る。）及び家電リサイクル券の写し（一般用エアコン又は一般用冷凍・冷蔵庫を撤去した場合に限る。）） (4) 導入した設備の保証書の写し	【提出期限】 補助事業が完了した日から起算して 30 日を経過した日又は交付決定日の属する年度の <b>3 月 31 日</b> のいずれか早い日まで。  (3)は、交付要綱別表 2 に定める対象区分が更新の場合に限り提出すること
⑨ 年度終了実績報告	交付決定日の属する年度が終了したとき	<b>年度終了実績報告書 (様式第 14 号)</b>	繰越承認を受け、補助事業を翌年度に繰り越す場合のみ提出が必要
⑩ 交付請求	補助金の額が確定し、補助金の支払を受けようとするとき	<b>補助金交付請求書 (様式第 15 号)</b>	

⑪ 財産処分承認申請	補助金を受けて設置した設備を処分しようとするとき	財産処分承認申請書（様式第 17 号）	耐用年数経過前に対象設備を譲渡、廃棄等する場合に申請が必要
------------	--------------------------	---------------------	-------------------------------

(2) 「事業活動温暖化対策計画等」について

**令和 5 年度の事業活動温暖化対策計画書については、法改正の内容を反映させるため、現在、様式等の見直しを長野県環境部で行っています。**  
**そのため、事業活動温暖化対策計画書の提出方法等については、別途お知らせします。**  
 （現在、長野県環境部のホームページ上に掲載されている様式での提出はできませんのでご注意ください）  
**なお、様式等の見直しまでに交付申請を行いたい場合は、計画提出についての「誓約書」を提出してください。**

## 6 留意事項

### ○事業の実施時期について

- ・補助対象事業は、補助金の交付決定日以降に着手し、原則として当該年度の 3 月末日までに完了するものであることが必要です。

なお、ここでいう「着手」とは、対象設備を実際に取り付けることだけでなく、対象設備の購入や取付け等の申し込みをすることも該当しますので十分注意してください。

ただし、交付要綱第 7 条第 2 項の認定を受けた後、やむを得ない事由により補助金の交付決定前に事業に着手する必要があるときは、あらかじめ交付決定前事業着手届出書を提出してください。

### ○交付申請から交付決定までの期間について

- ・提出された交付申請書が適正であり、必要な添付書類が揃っていることが確認できてから、概ね 1 か月以内に交付決定の通知を送付します。（審査の結果、補助要件等を満たさない場合は、不交付決定の通知を送付します。）

### ○交付申請書・実績報告書に添付する写真について

交付申請又は実績報告の際に添付していただく写真は、下表を参考に、補助対象設備の設置前・設置後の状況が確認できるように撮影してください。

	省エネ設備及び太陽光発電設備を除く再エネ設備	太陽光発電設備
交付申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ設備等の更新等を行う前の建物、設備の状況が確認できる写真</li> <li>・省エネ設備等の更新等を行う設置予定場所の写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム設置予定箇所の写真</li> <li>・パワーコンディショナ設置予定場所の写真</li> </ul>

<b>実績報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ設備等の更新等を行った後の建物、設備の状況が確認できる写真</li> <li>・更新等を行った省エネ設備等の型番が確認できる写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置した太陽光発電システムが確認できる写真</li> <li>・パワーコンディショナが設置されたことが確認できる写真</li> <li>・パワーコンディショナの型番が確認できる写真</li> </ul>
-------------	--	---

### ○その他

- ・提出された書類は返却しませんので、コピーを取るなど、控えを1部保管してください。なお、申請書類は本件に係る交付決定等補助金の交付に係る事務のみに使用し、他の目的には使用しません。
- ・必要に応じて申請内容を確認したり、追加資料の提出を求めたりすることがあります。
- ・申請等に当たっては、この要領のほか、交付要綱、Q & Aを十分に確認してください。